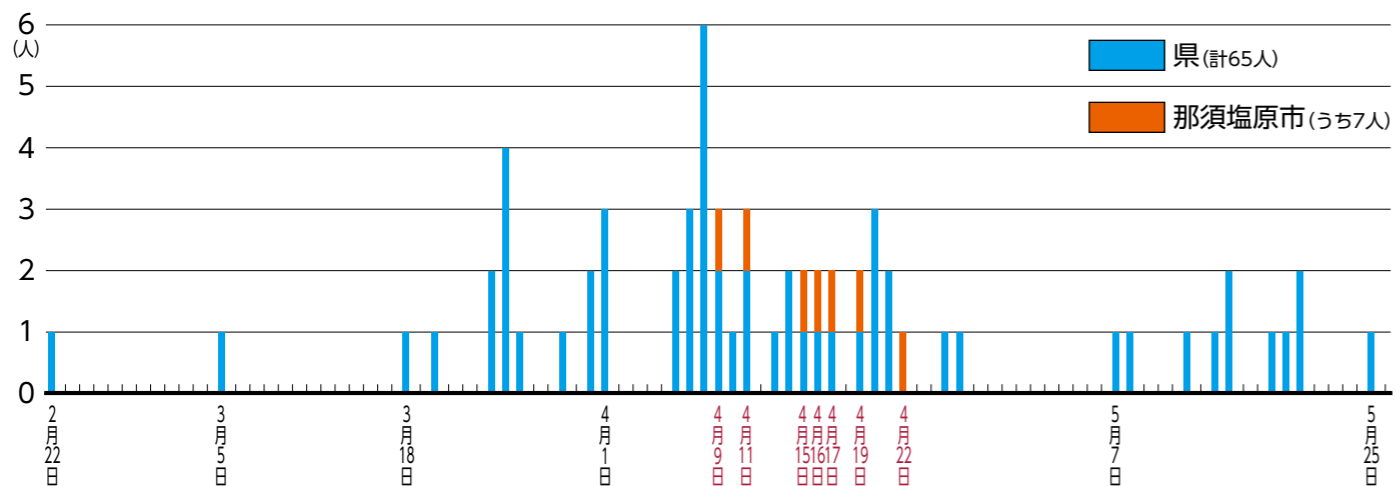


県内の新型コロナウイルス感染症患者の発生状況 (令和2年5月26日時点)



新しい生活様式の具体例

県内の緊急事態宣言が解除されましたが、再度感染が拡大する可能性があります。政府の専門家会議では、これから一定期間は、この新たなウイルスとともに社会で生きていかなければならないことが見込まれるため、感染拡大を予防する「新しい生活様式」が提言されました。

生活	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝検温する 会話をするときはマスクをし、できるだけ2メートルの間隔を空ける 3密を回避して生活する 	公共交通	<ul style="list-style-type: none"> 会話は控えめに 混んでいる時間帯は避ける 徒歩や自転車、自家用車の利用も併用する
外出	<ul style="list-style-type: none"> マスクを着用 遊びに行くなら屋内より屋外 家に帰ったらまず顔や手を洗う 帰省や旅行は控えめに 誰とどこで会ったか記録する 	食事	<ul style="list-style-type: none"> テイクアウトやデリバリーを活用する 大皿の料理は避けて個別に。会話は控えめに料理に集中 対面ではなく横並びで座る
買い物	<ul style="list-style-type: none"> 少人数ですいた時間に 展示品への接触は控えめに レジに並ぶときは前後にスペースを開ける 通信販売を利用する 	働き方	<ul style="list-style-type: none"> テレワークやローテーション勤務を 時差出勤でゆったりと 会議はオンラインで。対面での打ち合わせは換気とマスク
娯楽スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 公園はすいた時間、場所を選ぶ ジョギングは少人数で。すれ違う時は距離を取る 予約制を利用してゆったりと 狭い部屋での長居を避ける 	冠婚葬祭などの親族行事	<ul style="list-style-type: none"> 大人数での会食は避ける 発熱や風邪の症状がある場合は参加をしない

「3つの密(密閉空間・密集場所・密接場面)を避け、「手洗い」をしっかり行い、「人との距離を十分にとる」などの感染対策を行いながら生活する「新しい生活様式」を心がけるぞ」



この今も 闘っている 医療現場の ためにも。



STOP! 感染拡大 — COVID-19 —

世界各地で甚大な被害を巻き起こしている新型コロナウイルス感染症。本市においても7人の感染が確認されています(令和2年5月26日時点)。4月22日以降、本市では新たな感染者は確認されていませんが、まだまだ予断を許さない状況です。今回の特集では、新型コロナウイルスの現状と、これから新型コロナウイルスと共生していくための「新しい生活様式」の具体例、この苦境を乗り越えるための支援策を紹介します。

世界的な感染拡大

昨年末から中国湖北省を発端に、世界中に広がりを見せている新型コロナウイルス感染症。感染しても8割の人は軽症で治癒する例が多い一方、高齢者や基礎疾患(糖尿病や心不全、呼吸器疾患など)を持つている人は、重症化するリスクが高いことが報告されています。

本市では、4月9日～22日にかけて、7人の感染が確認されています。新聞・テレビなどで報道されているように、新型コロナウイルスは感染力が強く、誰もが感染する可能性があります。感染者やその家族、関係者などに対する不当な差別や偏見、いじめ、インターネット上での誹謗中傷などは、絶対にあってはなりません。皆さんも正確な情報に基づいた、冷静な行動を心掛けましょう。

日常生活にも大きな影響が

4月には全国に史上初の緊急事態宣言が発令される中、私たちの生活にも大きな影響が。市でも4月24日に非常事態宣言を発令し、緊張が走りました。感染拡大を防止するための不要不急の外出自粛、自治会活動の自粛を始めとするクラスター感染防止の徹底、市外からの不要不急の流入を抑制するための市有施設の休

止、民間の遊興施設などへの営業休止のお願いなどにより、普段のまちの様子とは一変しました。市でも速やかに対応するため、今年度の主なイベントや不急の事業は中止・延期し、対策費を捻出。旅館・ホテル向けの休業協力金の支給や、奨学金貸与による学生支援を行っています。

引き続きの警戒を

本県においては、4月16日に発令された緊急事態宣言が5月14日をもって解除されました。しかし、「緊急事態宣言解除」ではありません。日常を段階的に取り戻すよう、行動することが大切です。また、感染拡大を防止するために、職場では時差出勤やテレワークなど前向きな変化がありました。このような感染予防に有効な取り組みは、これからも無理のない範囲で続けましょう。

本市においても、5月31日までの警戒期間が終了し、小中学校を始め、博物館や公民館などが、少しずつ再開しています(詳細は市ホームページを確認してください)。自分自身を守るために、そして、大切な人を守るために、専門家会議で提言された新しい生活様式を心掛け、ウイルスへの警戒を怠らず、感染予防の徹底をお願いします。